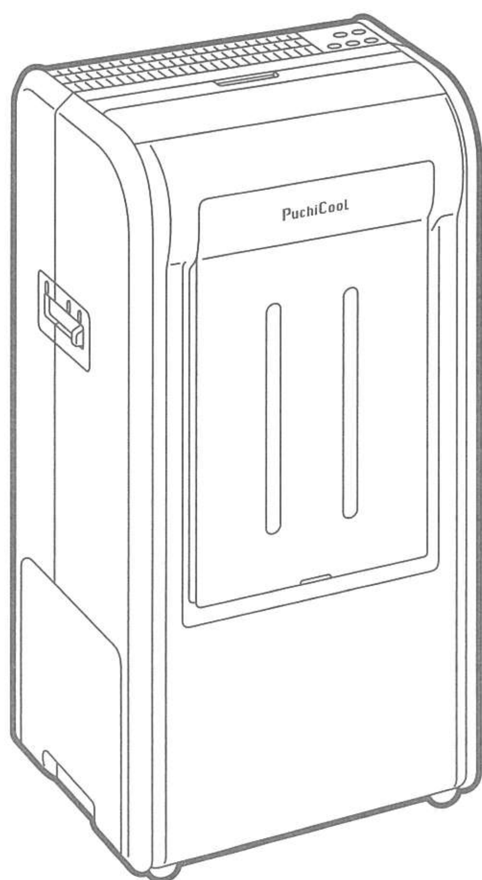
TOYOTOMI

上手に使って上手に節電

マイナスイオン発生 プチクール

型式 TID-M1G（除湿乾燥冷風機）
ティ アイ デー　エム　ジー

取扱説明書



このたびは本品をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を読んで、正しいご使用法でご愛用くださいますようお願い申しあげます。

■この取扱説明書は、保証書と共に大切に保管しておいてください。

■まちがった使用をされますと、機能を充分に発揮しなかったり、故障や思わぬ事故・危険を招くことがあります。

この製品は、一般家庭の人を対象とした除湿乾燥冷風機です。それ以外の目的・用途には使用しないでください。

W05-3

株式会社トヨトミ

7347000811

目　次

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください。）

●ここに示した事項は、⚠警告、⚠注意に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず守ってください。

⚠警告（WARNING）
取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠注意（CAUTION）
取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

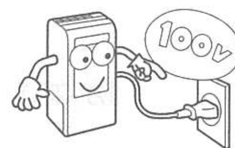
●説明文のお願い事項は、本機を誤りなく使用していただくための注意事項が記載されておりますので、必ずお守りください。

絵表示については次のような意味があります。

 一般的な注意
 必ずおこなうこと
 電源プラグをコンセントから抜け
 分解禁止
 火気禁止

⚠警告（WARNING）

●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。



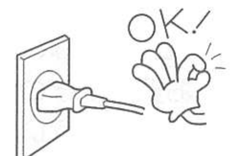

禁止

●長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。
体調悪化・健康障害の原因になります。



禁止

●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。




確認

●電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線をしない。
感電や発熱・火災の原因になります。




禁止

●電源コードは、束ねたり、引っ張ったり、物を載せたり、加熱したり、加工したり、物と物との間にはさんだりしない。
電源コードが破損する原因になります。
傷んだまま使用すると感電や火災などの原因になります。



禁止

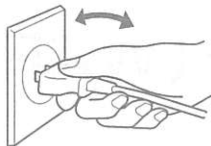
●空気の吹出口や排熱口に指や異物を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。また感電することもあります。



禁止

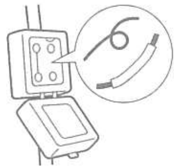
⚠警 告（WARNING）

●**電源プラグの抜き差しにより本機の運転や停止をしない。**
感電や火災の原因になります。





●**安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わない。**
故障や火災の原因になります。





●**可燃性ガスの漏れるおそれのある場所では使用しない。**
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



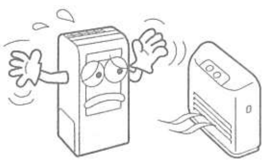


●**殺虫剤などを吹きつけない。**
変色やひび割れの原因になります。





●**発熱器具の近くに置かない。**
樹脂部分が溶けて引火するおそれがあります。





●**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。





●**異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。**
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

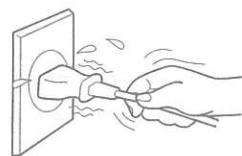


●**修理は、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。



⚠注意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になることがあります。



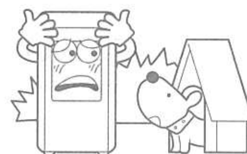

●使用する場所は、振動のない、水平でしっかりした床面で使用する。
予期せぬ移動や転倒、故障の原因や、水漏れの原因にもなります。




●動植物に直接風があたる場所には置かない。
動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。




●屋外で使用しない。
機器の劣化により、故障や火災の原因になります。



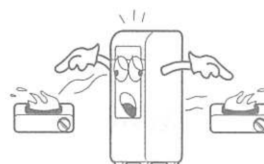

●押し入れなどせまい場所では、使用しない。
故障や発熱・発火の原因になります。



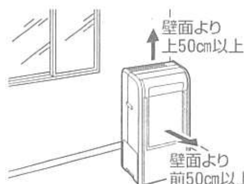

●テレビやラジオなどＡＶ機器や電波時計から2.0ｍ以上離して使用する。
映像の乱れや雑音が入ることがあります。



●風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
燃焼器具の不完全燃焼による一酸化炭素中毒などの原因になることがあります。

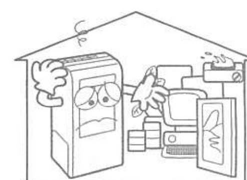



●吹出口や排熱口の風をさえぎったり、吸込口や空気取入口をふさいだりしない。
風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。






●食品・動植物・精密機器・美術品・医薬品等の保存など、特殊用途には使用しない。
プチクール自体並びにこれらの品質低下の原因になります。




⚠注意(CAUTION)

●**水をかけたり、水のかかり易い場所(乾いていない浴室など)に置いたりしない。また、上に花瓶など水の入った容器をのせない。**
倒れて水がこぼれるなど、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、ショート・感電のおそれがあります。




●**上に乗ったり、物をのせたりしない。**
転倒などにより、けがの原因になることがあります。




●**濡れた手でスイッチを操作しない。**
感電の原因になることがあります。



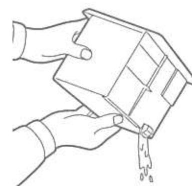

●**むやみにボタンを押さない。**
故障の原因になります。




●**湿度が非常に高いとき、運転をすると、上面や側面に露が着き、床に落ちる場合があります。**



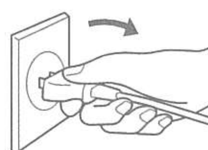

●**移動するときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ドレンタンクの水を捨ててからおこなう。**
水がこぼれて床や家財道具を濡らしたり、感電や漏電・火災の原因になります。
「エコ冷風」運転後は、運転切替レバーを**「除湿乾燥」**運転に切替えてからドレンタンクの水を捨ててください。




●**落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。



●**手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなう。**
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。




●**キャスターをひきずって移動させない。**
床面やじゅうたんを傷付ける原因になります。
又、傷付きやすい床面やじゅうたんでは持ち上げて移動してください。



⚠注意(CAUTION)

●水洗いしない。
ショート・感電及び故障のおそれがあります。





●本体内部の熱交換器(蒸発器・凝縮器)には手をふれない。
けがの原因になります。やむを得ず手をふれる場合は、必ず手袋をはめて注意してください。





●テーブルの上など高い所で使用しない。
本体が落下した場合、けがの原因になります。



●連続排水する場合は、ホースの折れ曲がりや落差などに注意し、確実に排水するよう配管する。
内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因になります。





●排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする。
ホース内部の水が凍結し、本体内部の水が室内にこぼれて、家財などを濡らす原因になります。



●別荘など無人で長時間ご使用になるときは、定期的に点検をする。
過熱や漏水・漏電の原因になります。



●同じ場所で長期間ご使用の場合は、製品下部や床の周辺・壁などの汚れにご注意ください。
吹出口の風が当る壁などに、汚れた跡が残る場合があります。同じ場所で長時間ご使用の場合は、壁や床など早めの清掃をしてください。



●長期間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。
ほこりが溜まって発熱・発火の原因になることがあります。

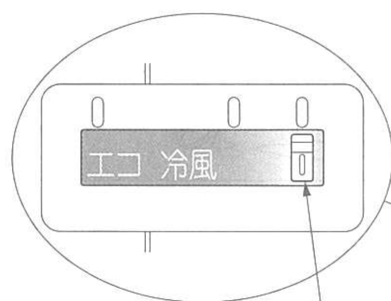


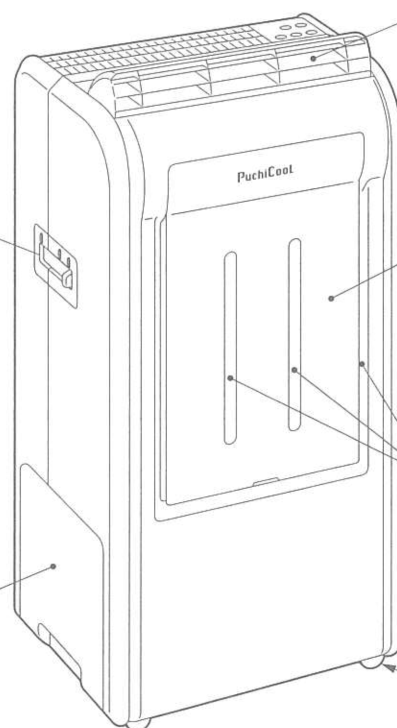
●熱交換器(蒸発器・凝縮器)の洗浄には専門技術が必要ですので、お買い求めの販売店にご相談ください。
市販の洗浄剤などを使用しますと、樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水もれや感電の原因にもなります。



各部のなまえとはたらき

前　面





ルーバー（吹出口）
冷風運転時にあがり、
冷風を出します。

フィルターカバー

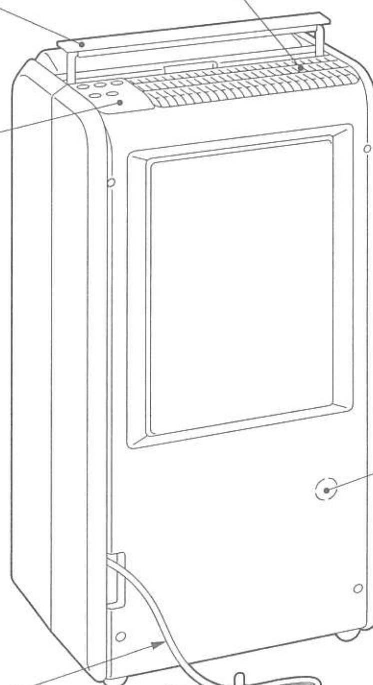
運転切替レバー
冷風・エコ冷風・
除湿乾燥運転を切り替えます。

空気吸込口

ドレンタンク
運転時に出るドレン水（除湿水）
を溜めておきます。

キャスター

背　面



排熱口

キャリングハンドル

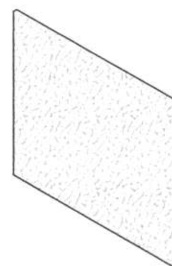
操作部

ドレン連続排水穴
一ケ所に固定して使用する
場合や、直接排水する場合の
排水穴です。

電源プラグ

電源コード

附属品



除菌フィルター

箱の中に袋に入った状態で同梱されています。
ご使用前に必ず袋から取り出して取付けてください。（10ページ参照）

操作部のなまえとはたらき

TID-M1G

除湿乾燥　冷風　リズム（点滅）　強　弱　(時間)　4　2　1　衣類乾燥　風量切替　満水時点滅　ion　切タイマー　スイング　運転 入/切

衣類乾燥ランプ

「衣類乾燥」モードにするとランプが点灯します。

切タイマーランプ

切タイマー運転中の残り時間をランプで表示します。

4…2〜4時間
2…1〜2時間
1…0〜1時間

切タイマーボタン

切タイマー運転の開始・時間設定・解除をおこないます。ボタンを押すごとに「無点灯」→「1」→「2」→「4」の順に切り替わります。

スイングボタン

ボタンを押すとルーバーが上下に連続して動きます。再度ボタンを押すと止まります。ただし「除湿乾燥」運転は動きません。

運転表示ランプ

各運転に合わせて各々のランプが点灯します。運転切替レバーの切り替えによってランプ表示が変化します。

風量ランプ

風量の状態「強」「弱」を表示します。「リズム」運転のときは「強」ランプが点滅します。

風量切替ボタン

押すごとに「弱」→「リズム」→「強」と風量が切り替わります。

運転ボタン

ボタンを押すと運転を開始し、再度ボタンを押すと停止します。

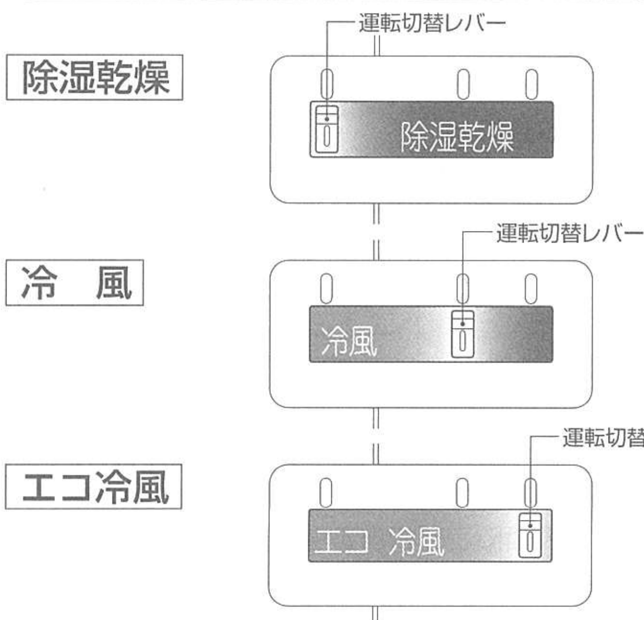
運転ランプ

運転中ランプが点灯します。また、ドレンタンクが満水になった時ランプが点滅して満水をお知らせします。

衣類乾燥ボタン

ボタンを押すと、「衣類乾燥ランプ」が点灯し、「風量ランプ」「切タイマーランプ」が消灯し、「衣類乾燥」モードを開始します。もう一度押すと、「衣類乾燥」モードは解除されます。

運転切替レバー位置のはたらき



除湿乾燥：お部屋の湿気を取りたいときや、洗濯物を乾かしたいときなどに使用します。冷風を止めた除湿力優先の運転です。

冷風：冷風で涼みたいとき、お部屋の湿気を取りたいとき、洗濯物を乾かしたいときなどに使用します。

エコ冷風：冷風で涼みたいとき、ドレン水（除湿水）の量を少なくさせたい場合に使用します。除湿量は低下しますが、電気量を低減できます。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

プチクールは冷房機ではありません

- プチクールは、上面の排熱口より熱風を吹き出す構造ですので、**部屋全体を冷房することはできません。**
- **部屋を閉め切って運転しますと、室温が上昇することになります。**

マイナスイオンについて

この製品はマイナスイオン発生器を搭載し、マイナスイオン発生機能を付加した除湿乾燥冷風機です。
★すべての運転時にマイナスイオンを発生します。

運転中守っていただきたいこと

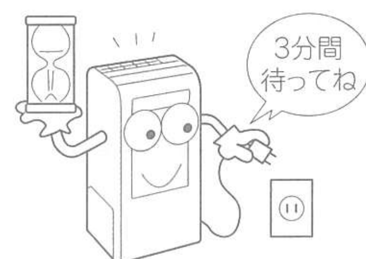
室温が5～35℃の範囲でご使用ください

温度範囲（5℃～35℃）外でご使用になると、機械の保護機能が働き、運転できないことがあります。（13ページ参照）

停電したり電源プラグを抜いたときは

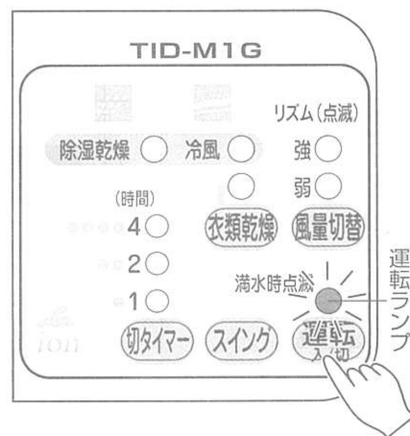
マイコンの記憶回路が消えるため、始めから運転操作をしなおしてください。

再運転は3分以上待ってください



「運転ボタン」で運転を停止させたときや、「運転ランプ」が「点滅」して運転が停止したときなど、一旦運転を停止させたときは、またすぐ（3分間以内）に「運転ボタン」を押しても運転しません。（送風のみの動作になります。）
これは機械を保護するためで、3分たてば運転を開始します。

運転中はドレン水（除湿水）が出ます。
ドレンタンクにドレン水（除湿水）が70～80%溜まると、満水スイッチが働いて**「運転ランプ」**が**「点滅」**し、運転が停止します。
ドレンタンクを取り出して水を捨て、ドレンタンクを元どおりに取り付けてから再度運転してください。「運転ボタン」を押し、一旦「運転ランプ」を「消灯」させてから、もう一度**「運転ボタン」**を押して、運転を再開してください。



移動する時の注意

★**「エコ冷風」**運転後に製品を傾けたり移動したりする場合、ドレンタンク内のドレン水（除湿水）が空の状態でも運転切替レバーを**「除湿乾燥」**運転に切替えてから移動等をおこなってください。運転切替えをおこなわないと、上部に溜ったドレン水（除湿水）が表面にこぼれ出る場合があります。

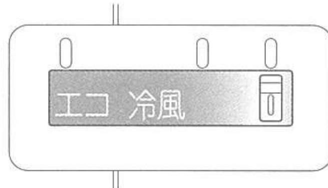
除湿量について

除湿量は、お部屋の温度・湿度によって変わります。

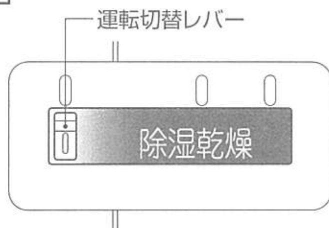
- お部屋の湿度が低いと、空気中の水分量が少なくなるので、除湿量は減少します。

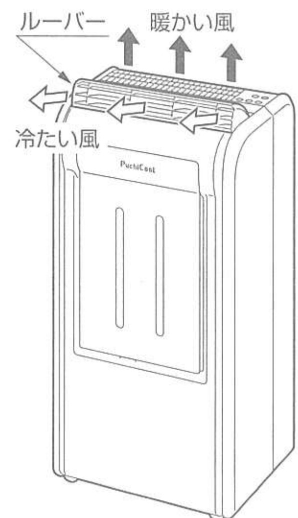
運転切替レバーについて

出荷時は、エコ冷風 に設定されています。



除湿乾燥

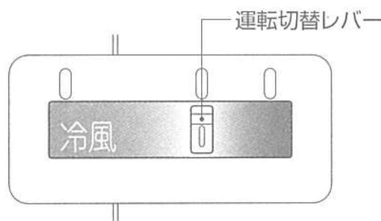




お部屋の湿気を取りたいときや、洗濯物を乾かしたいときなどに使用します。
冷風を止めた除湿力優先の運転です。

- ルーバーが閉じ、排熱口から暖かい風が出ます。

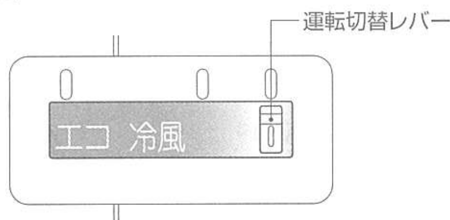
冷風



冷風で涼みたいとき、お部屋の湿気を取りたいとき、洗濯物を乾かしたいときなどに使用します。

- ルーバーから冷たい風が出ます。
- 上面排熱口からは暖かい風が出ます。

エコ冷風



冷風で涼みたいとき、ドレン水(除湿水)の量を少なくさせたい場合に使用します。除湿量は低下しますが、電気量を低減できます。

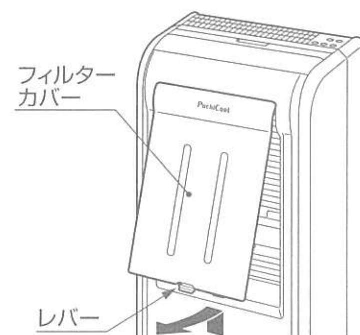
- ルーバーから冷たい風が出ます。
- 上面排熱口からは暖かい風が出ます。(「冷風」運転より温度の低い風が出ます。)

除菌フィルターの取り付け（除菌フィルターは箱の中に同梱されています）

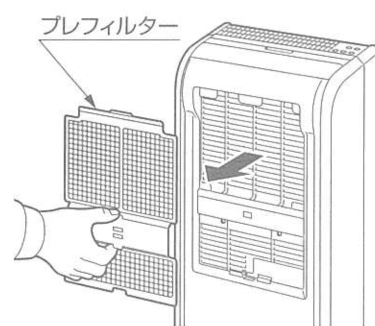


除菌フィルターは必ずポリ袋から取り出して使用する。
フィルターの効果が得られないばかりか故障の原因になります。

1 フィルターカバーの下のレバーを持って手前に引き、フィルターカバーを取りはずします。

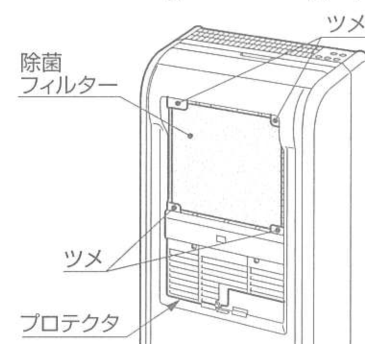


2 フィルターカバーを取りはずすと、プレフィルターがありますので、プレフィルターを手でつまんで上下の引っかけをはずすように手前に引いて取りはずしてください。

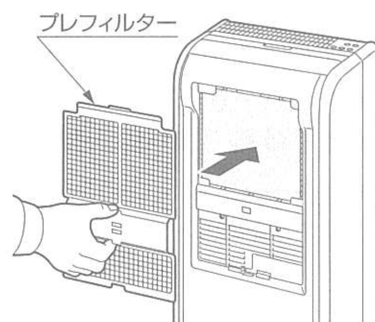


3 同梱されている、除菌フィルターをポリ袋から取り出します。

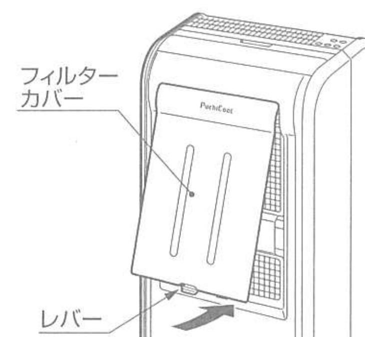
4 除菌フィルターを図のようにプロテクタのツメ（4箇所）に引っ掛け取り付けます。



5 プレフィルターを上下のつめに合わせて、中央の穴に差し込んで、取り付けてください。



6 フィルターカバーを上部のつめを合わせて、レバーを押して取り付けてください。



お願い

除菌フィルターの交換のめやすは約3年です。
ただし使用時間や設置場所により異なります。

基本機能の紹介

冷風運転・エコ冷風運転

（12、13ページ 運転方法 ）

●圧縮機（コンプレッサー）により、湿気の少ない冷たい空気を、前面の吹出口より吹き出し、同時に除湿もおこないます。（上面の排熱口からは温風が出ます。）
またエコ冷風運転でタンクの排水回数を減らし、温風の温度も下げられます。排熱口よりマイナスイオンを発生します。

除湿乾燥運転

（12、13ページ 運転方法 ）

●お部屋の空気を蒸発器で冷やし、水分を結露させ除湿します。冷やされた空気は凝縮器を通り、あたためられ、排熱口より出ます。（ルーバーは上がりません。）
排熱口よりマイナスイオンを発生します。

メモリー運転

●一度セットした運転条件は、停電や電源プラグを抜かない限りマイコンに記憶されます。
次回からは運転ボタンを押すだけです。
（タイマー設定と衣類乾燥モードは解除されます。）

切タイマー運転

（17ページ タイマー運転 ）

●切タイマー運転にしますと、1、2、4時間のうち、お好みの時間経過後に運転を停止させることができます。

リズム運転

（13ページ 風量調節のしかた ）

●風量切替えを「リズム」にすると、送風機が自動的に「強風」・「弱風」を繰り返すリズム運転になります。
●冷風を連続して体に当てたくない場合にご使用ください。

オートスイング

（14ページ 風向き調節のしかた ）

●冷風運転時にルーバーを上下にスイングさせることができます。またお好みの角度で止めることもできます。
「除湿乾燥」運転では働きません。

除菌フィルター

●お部屋の空気が除菌フィルターを通ることにより、フィルターが持っている金属フタロシアニン錯体が空気中のタンパク質にて構成された微小な物質を吸着・分解します。

オートタイマー機能

●運転開始から12時間経つと自動的に運転を停止します。（運転ボタンで「切」にした場合や、タイマー運転させた場合には、オートタイマー機能は働きません。）

衣類乾燥モード

（15ページ 衣類乾燥モードのしかた 、16ページ 衣類乾燥モード時の衣類干しかた ）

●洗濯物を干して運転させると、湿度センサーで室内湿度をチェックし、それにより洗濯物の乾燥状態を推測して、運転状態を制御し、最終的に運転を停止します。

運転前の確認事項

	電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように刃の根元まで確実に差し込む。 ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。	
	空気の吸込口や吹出口を布やふとんなどでふさがない。 故障や発熱・発火の原因になります。	

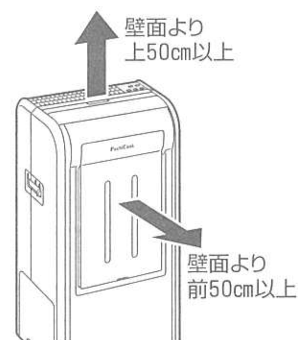
★包装箱より製品を取り出してください。
製品本体に輸送のため貼ってある水色のテープを取りはずしてください。

1 ドレンタンクが入っていることを確認してください。



2 電源プラグを、コンセントに確実に差し込んでください。

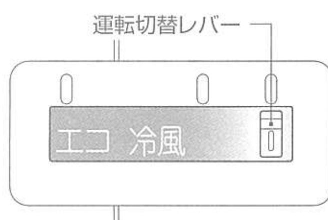
3 設置場所を決めます。
- 水平で丈夫な床面や場所を選びます。
- 効率よく運転するために壁面より右図のようにスペースを確保してください。



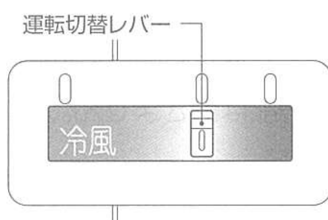
運転方法

運転切替レバーをスライドさせて**「エコ冷風」**運転、**「冷風」**運転、**「除湿乾燥」**運転のどれにするか、選んでください。

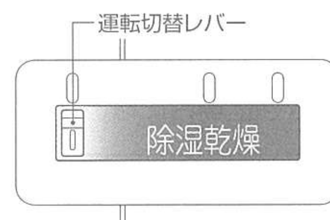
運転切替レバー
エコ冷風 位置



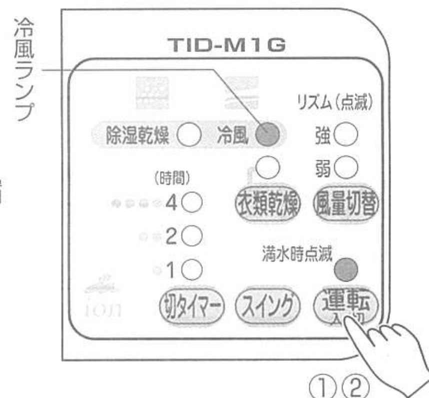
運転切替レバー
冷 風 位置



運転切替レバー
除湿乾燥 位置



①運転ボタンを押します



●運転切替レバーにて設定された運転を開始します。
●もう一度押すと運転が停止します。
★運転を停止し再度運転を開始した時、停止後3分たってから圧縮機(コンプレッサー)が起動します。
これは、機械を保護する3分間保護機能によるものです。
この時の3分間は送風のみになります。

②運転停止

●**「運転ボタン」**を押します。(全てのランプが**「消灯」**します。)

★室温が使用温度範囲(5℃～35℃)外のときは、運転はしないでください。運転をしますと、機械の保護機能が働き、圧縮機(コンプレッサー)ON・OFF(間欠運転)をすることがあります。
★低温時には、内部の熱交換器の霜取り運転(間欠運転)をおこなうことがあります。このとき、**「冷風ランプ」**または**「除湿乾燥ランプ」**が**「点滅」**します。(17ページを参照ください。)

風量調節のしかた



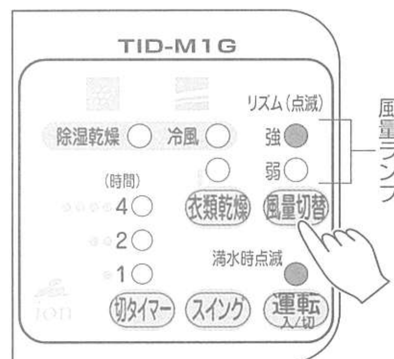
長時間、冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎない。
特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。
体調悪化・健康障害の原因になります。



風量切替ボタンを押します

●運転中にボタンを押すと、押すたびに風量が次のように替わります。
お好みの風量に合わせてください。





●風量の切り替えを**「風量ランプ」**が**「点灯」**または**「点滅」**して表示します。
強…………強風量で運転します。(強ランプ点灯)
弱…………風量をおさえ静かな運転をします。(弱ランプ点灯)
リズム……自動的に「強風」・「弱風」を繰り返して運転します。
(強ランプ点滅)

風向き調節のしかた



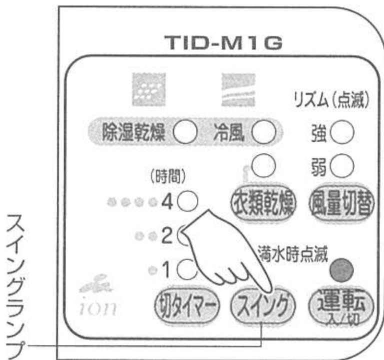
空気の吹出口や排熱口に指や棒等を入れない。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になります。



スイングボタンを押します

運転中にスイングボタンを押すと

- ●ルーバーが、上下に連続して動きます。
- ●もう一度押すとスイングが停止します。
- ●**「除湿乾燥」**運転時はルーバーは動きません。



お願い

ルーバーは絶対に手で動かさないでください。破損する場合があります。又、正しい範囲でスイングしなくなります。

衣類乾燥モード

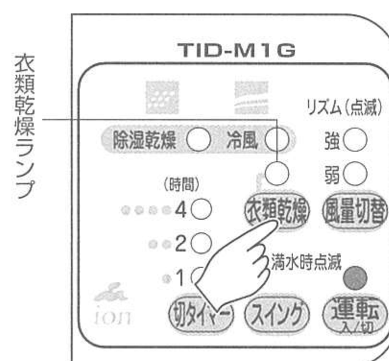
衣類乾燥モードについて

プチクールの**「衣類乾燥」**モードとは、製品内部のセンサーで衣類の乾燥度合いを推測して運転パターンなどを自動で変更し、乾燥状態と判断したときには自動で運転を停止させる機能です。

★室内の環境、条件によって正確に制御しない場合があります。また、衣類の干し方や量、素材によっても乾きにくくなることがあります。
★もし衣類が完全に乾く前に停止していたら再度、運転をしてください。
★最長 6 時間後に停止します。

衣類乾燥モードのしかた

衣類乾燥ボタンを押します



●運転中にボタンを押すと、運転切替レバーで設定された運転で**「衣類乾燥」**モードを開始します。
●操作部の**「衣類乾燥ランプ」**が点灯し、**「風量ランプ」**と**「切タイマーランプ」**が消灯します。
●もう一度押すと、**「衣類乾燥」**モードは解除され、**「衣類乾燥ランプ」**も消灯します。

★**「衣類乾燥」**モード時は、**「風量切替ボタン」「切タイマーボタン」**は無効となります。
★運転切替レバーの位置はどこでも運転しますが、**「エコ冷風」**運転にしますと、乾燥の効果が落ちます。

衣類乾燥モード時の衣類の干しかた

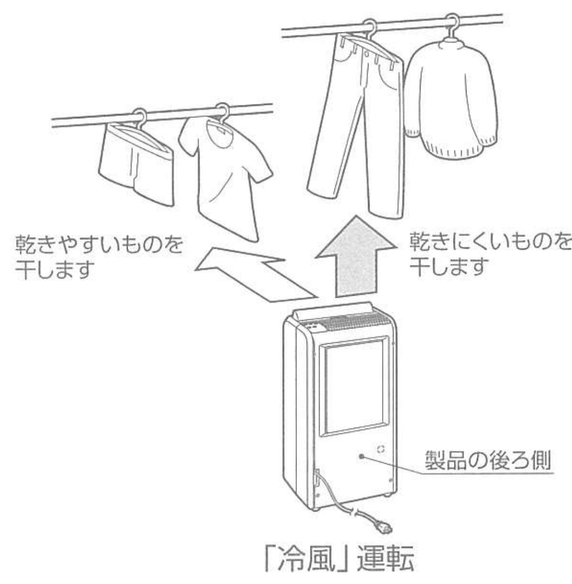


空気の吸込口や吹出口を布やふとんなどでふさがない。
故障や発熱・発火の原因になります。

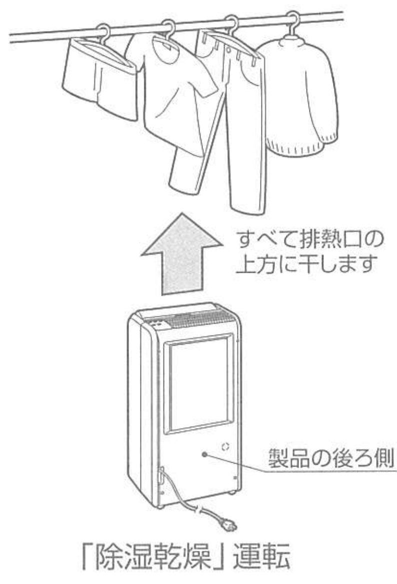


●なるべくせまく、密閉した部屋(乾いた浴室、脱衣場など)で干してください。
●衣類は干す前にしっかり洗濯機などで脱水した後、シワをのばしてください。
●重さの軽い衣類はしっかりハンガーにとめて干してください。
●ズボンのポケットなどは外に出して干すと部分的に生乾きになるのを防げます。
●衣類はつめすぎず、風が行きわたるように干してください。
厚手の衣類は特に風の当たりやすい場所に干してください。
●まんべんなく乾かしたい時は、ときどき衣類の場所を変えてください。
★風の当たらない所は生乾きになることがあります。

干しかたの例



「冷風」運転

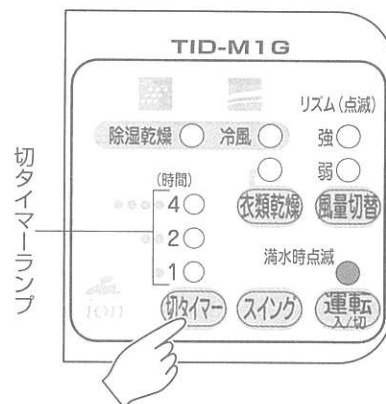


「除湿乾燥」運転

※本機のタイマー運転は、現在の運転状態を、セットされた時間後に停止させる(切タイマー)運転です。

切タイマー運転のしかた

切タイマーボタンを押します



●運転中に「**切タイマーボタン**」を押して、タイマー時間を設定します。
「**切タイマーボタン**」を押すたびに

→無点灯→ 1 → 2 → 4

と各時間に順次切り替わり、「**切タイマーランプ**」が「**点灯**」します。

●セットした時間が経過すると運転が停止します。

●タイマーセットを解除する場合は、「**切タイマーボタン**」を押して、「**切タイマーランプ**」を「**消灯**」にします。連続運転に切り替わります。

切タイマーランプ	1	2	4
残り運転時間	0～1時間	1～2時間	2～4時間

このタイマーは、例えばタイマーセットをして「**切タイマーランプ**」の4を「**点灯**」させると、残り運転時間は4時間にセットされますが、残り運転時間が2時間から4時間の間は「**切タイマーランプ**」は4を「**点灯**」し続けます。

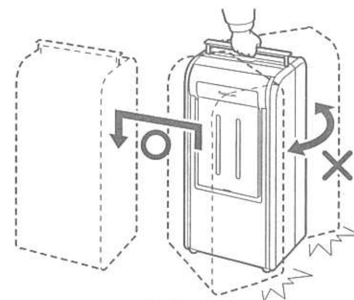
低温時の使用上のご注意

本機は、低温(室温約12℃以下)において、圧縮機（コンプレッサー）がＯＮ・ＯＦＦする(間欠運転する）ことがありますが、これは、内部の熱交換器の霜取り運転をおこなっているためですので異常ではありません。
霜取り運転中は「**運転表示ランプ**」のいづれかが「**点滅**」します。
また、低温高湿度で長時間連続使用されますと、内部の熱交換器(蒸発器)の霜が取りきれなくなり、凍り付くことがあります。
ときどきフィルターカバーをはずして、熱交換器が凍ってないことを確認してください。（うっすら白く霜が付いている程度は問題ありません。）
もし、凍り付いていましたら、運転を停止させてください。

移動するときのご注意

⚠注意

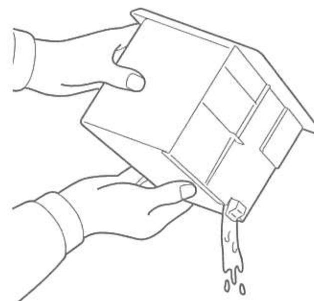
キャスターを引きずって、本体の方向を変えたり、移動させない。畳や傷の付きやすい床・凹凸のある場所・毛足の長いじゅうたんなどでは、持ち上げて移動してください。
床面やじゅうたんの表面を傷付ける原因になります。



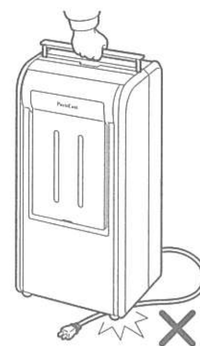
本体を移動するときは運転を停止して必ず水を捨て、運転切替レバーを「除湿乾燥」運転に切替える。ドレンタンクや上部に溜ったドレン水（除湿水）が振動で床などにこぼれて家財等を濡らす原因になります。


確認

1 ドレンタンクの水を捨てる。（19 ページ ドレン水（除湿水）の処理のしかた）



2 キャリングハンドルを持って移動する。
キャスターに電源コードを挟まないよう注意してください。



★**「エコ冷風」**運転後に製品を傾けたり移動したりする場合、ドレンタンク内のドレン水（除湿水）が空の状態でも運転切替レバーを**「除湿乾燥」**運転に切替えてから移動等をおこなってください。運転切替えをおこなわないと、上部に溜ったドレン水（除湿水）が表面にこぼれ出る場合があります。

ドレン水（除湿水）の処理のしかた

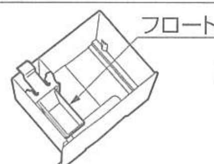
ドレンタンク（標準装備）を使用する場合

⚠注意

ドレンタンクを取り出した後、本体奥の内部に触れない。
満水停止装置の故障の原因となります。



フロート内の水は充分に取り除く。
満水停止装置が正常に働かず、水漏れのおそれがあります。





ドレンタンクにタンクフタを取り付ける。
水がこぼれて床や家財道具を濡らしたり、感電や漏電・火災の原因になることがあります。

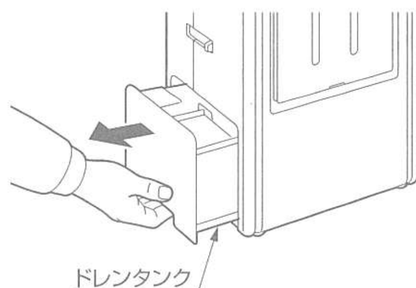


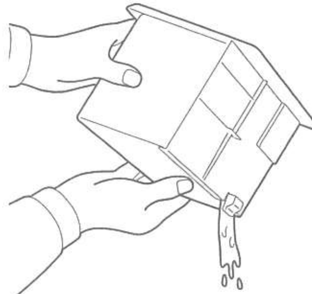
お願い

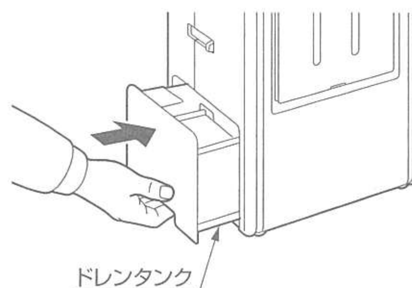
ドレンタンクの入れ方が悪いと、ドレン水（除湿水）が漏れたり、運転しなかったりします。ドレンタンクは本体に正しく入れてください。
ドレンタンクのタンクフタを外した時は必ずしっかりと元通りに組付けてください。

- **運転**をしますと、ドレン水（除湿水）が、機内のドレンタンクに溜まります。ただし、運転後20分くらいはドレン水は溜まりません。
- ドレンタンクに除湿された水が70～80%溜まりますと、運転が停止し、**「運転ランプ」**が**「点滅」**します。**「運転ランプ」**が**「点滅」**した場合は、次の要領で本体側面からドレンタンクを取り出し、溜まった水を捨ててください。

1. 本体側面のドレンタンクを静かに引き出します。
2. ドレンタンクに溜まったドレン水（除湿水）を捨てます。
3. 排水後、ドレンタンクの前後を間違えないように、ドレンタンクの水量窓が外側になるように、止まるまで確実に入れます。
4. **「運転ボタン」**を押し、ランプの**「消灯」**を確認してから、再度**「運転ボタン」**を押してください。







連続排水する場合

連続排水運転で使用するときのご注意

- 連続排水運転するときは、定期的に(2週間に1度)フィルターの汚れ、排水ホースの詰まりなどを点検し、異常のないことを確認してください。
  排水ホースは、ホースの周囲が氷点下にならないような場所に設置してください。
  (ホース内部の水が凍結すると、本体内部の水が室内にこぼれ、家財などを濡らす原因になります。)
- ホースの先から虫が入るような場合は、ネット(網)を取り付けるようおすすめします。
- **連続排水運転時にも、運転開始12時間後に自動停止するオートタイマー機能は動作します。**

近くに排水できる場所があれば、連続排水ができます。必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜き、次の手順でおこなってください。

1 ドレン連続排水穴を開ける。

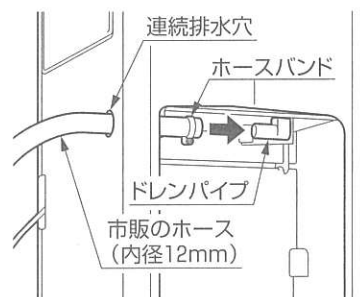
ドレンタンクを取り出してからおこなってください。
本体背面のドレン連続排水穴をドライバーなどで押して打ち抜いてください。
このとき、本体に傷を付けないように注意してください。

穴の縁は「ヤスリ」などで削り仕上げてください。



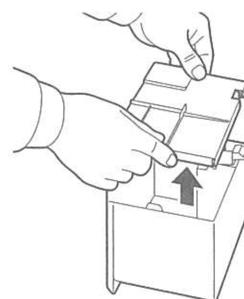
2 ドレンパイプの先端にホースを取り付けます。

①市販のホース(内径12mm)をドレン連続排水穴に通します。
②ホースを右図のようにドレンパイプに取り付けます。
ホースは奥まで確実に取り付けてください。
又、ゆるみがある場合は市販のホースバンドで確実に固定してください。水漏れの原因になります。

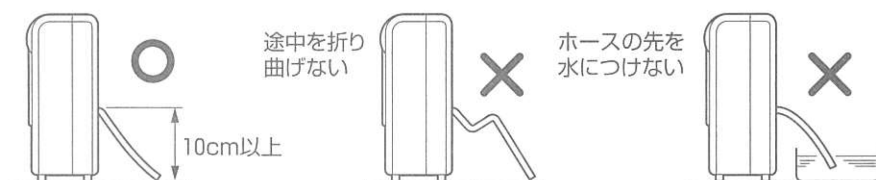


3 ドレンタンクのフタを取りはずし、ドレンタンクを取り付ける。

ドレンタンクを取り付けないと、運転できません。
(本体内の満水停止装置が動作し、運転停止状態になります。)



連続排水時のホースの引きかた



連続排水をやめて元へ戻す場合

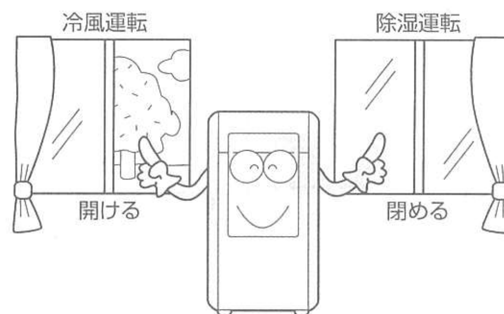
ホースをドレンパイプから抜き、ホースを連続排水穴から抜いてください。
ドレンタンクにフタをしてご使用ください。

経済的で快適にお使いいただくために

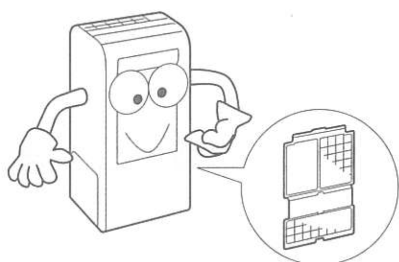
排気の処理を適正に

■冷風運転時
排熱が逃げるように、窓を開けて使用してください。

■除湿運転時（「冷風」運転または「除湿乾燥」運転で除湿するとき）
窓や出入口を閉めて湿気が侵入しないようにしてください。（室温は少し上昇します。）

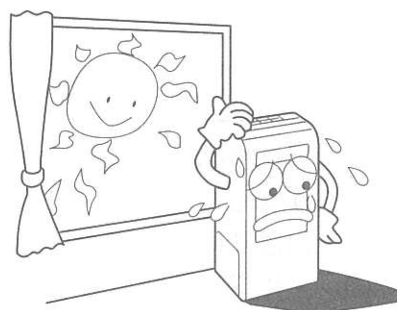


フィルターの掃除はこまめに



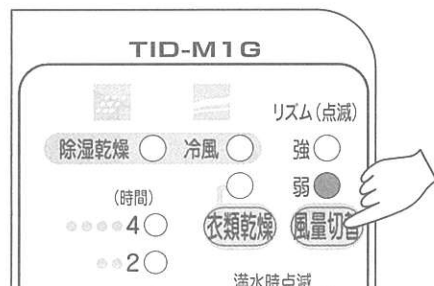
フィルターの目づまりは、風量が減り、冷風効果を弱めます。２週間に１回は掃除をしましょう。（20ページ参照）

直射日光を入れない



直射日光をカーテンやブラインドでさえぎりましょう。

静かな運転をご希望のときは「弱」で



おやすみになるときなどは**「風量切替ボタン」**を「弱」にしてご使用ください。

熱の発生は少なく



室内には、できるだけ熱源になるものを置かないでください。

お手入れの前に



●手入れ・掃除をするときは、必ず運転ボタンを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して、発熱・発火の原因になることがあります。

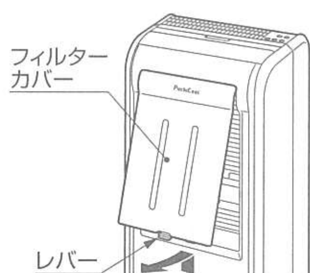


フィルター・熱交換器などの掃除

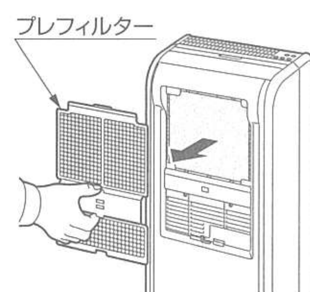
プレフィルター　2週間に1回程度

●フィルターの目詰りは除湿冷風能力の低下をまねき、電気代の無駄になりますので、こまめに掃除することをおすすめします。
●フィルターを付けずに運転すると本体内部にほこりがたまり、故障の原因になります。
●汚れた除菌フィルターは洗っても再使用できません。必ず交換してください。

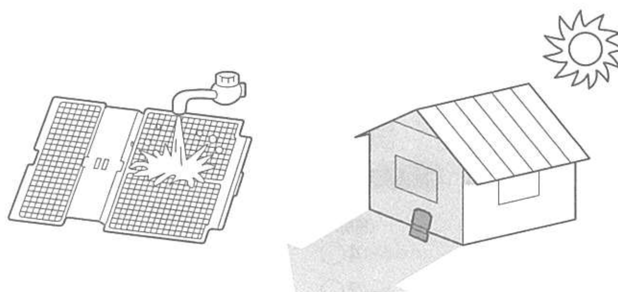
1 本体のフィルターカバーを取りはずします。



2 フィルターカバーを取りはずすと、プレフィルターがありますので、プレフィルターを取りはずします。



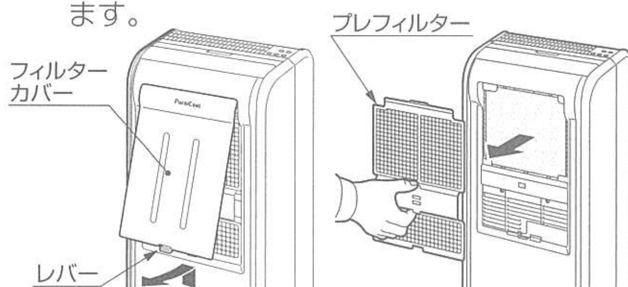
3 プレフィルターの汚れを取ります。
汚れは、水や中性洗剤をうすめたぬるま湯で洗い流すか、掃除機で吸い取ります。
洗った後は日陰で充分に乾かしてください。



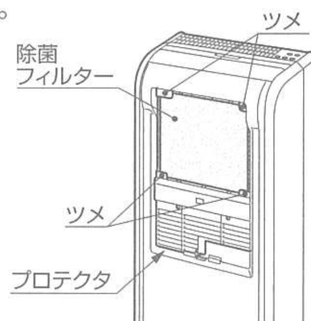
4 プレフィルター及び「フィルターカバー」を元通りに製品に取り付けます。

熱交換器　1年に1回程度

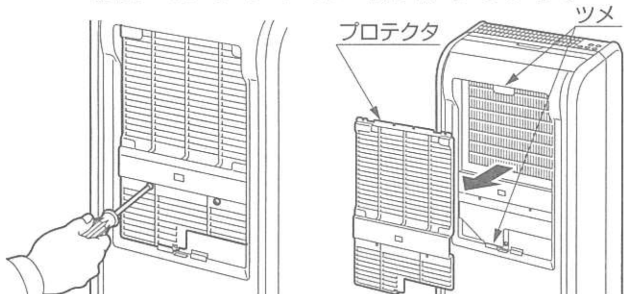
1 フィルターカバー及びプレフィルターをフィルターを掃除する時の要領で取りはずします。



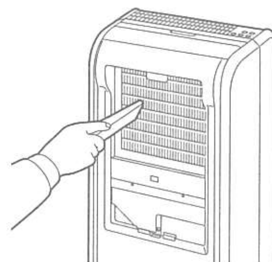
2 除菌フィルターをプロテクタから取りはずします。



3 プロテクタの右図の位置にプラスチックネジ(2本)がありますので、⊕ドライバーを使ってネジを取りはずします。
また、プロテクタの右図の位置にツメで引っ掛けていますので、取りはずします。



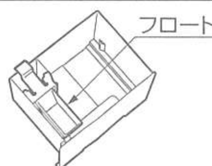
4 蒸発器を掃除機などでほこり等を吸い取ったり、ブラシ等でほこりを取り除いてください。



5 プロテクタ、除菌フィルター、プレフィルター、フィルターカバーを順に取り付けます。



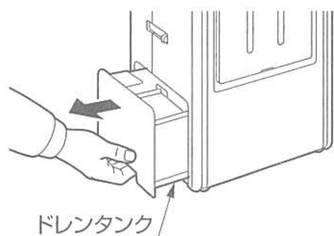
フロート内の水は充分に取り除く。
満水停止装置が正常に働かず、水漏れすることがあります。



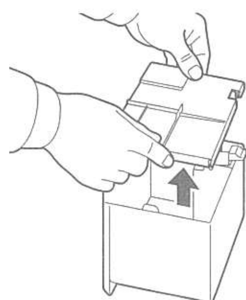


ドレンタンク　1週間に1回程度

1 本体よりドレンタンクを取りはずします。



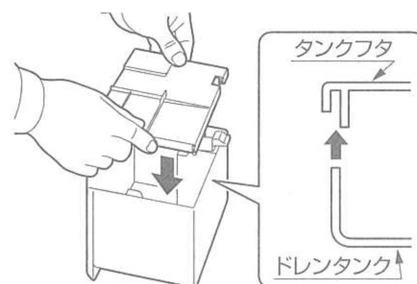
2 タンクフタを取りはずします。
タンクフタは、左または右の角から徐々にはずします。

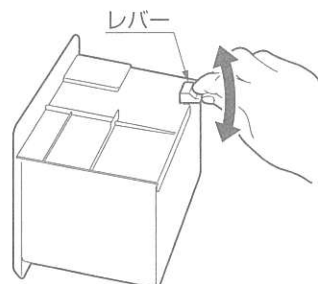


3 ドレンタンクを洗います。
やわらかい布やスポンジで水洗いしてください。



4 ドレンタンクをやわらかい布でふき、タンクフタを取り付けます。
- タンクフタ外周は溝となっています。全周にわたって溝にタンクのヘリが合うように取り付けてください。
- タンクフタをはめた後にフロートのレバーを動かし、スムーズであるか確認してください。





本体のお手入れ

	水洗いしない。 ショート・感電のおそれがあります。	 禁止



●やわらかい布で、からぶきしてください。
●特に汚れがひどい場合は、ぬるま湯でふきとってください。
■**40℃以上のお湯は使わないでください。**
プラスチックが変形することがあります。

■**次のようなものは使わないでください。塗装面やプラスチックをいためます。**
ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤など。
■**化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。**

長期間使用しない場合の手入れ

●長期間使用しない場合は、ドレンタンク内の水は必ず抜いておいてください。

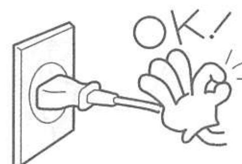
シーズン後には	シーズン前には
●ドレンタンクを掃除して、取り付けておいてください。 ●晴れた日に半日ほど風通しのよい場所で、機器の内部を乾燥させてください。 ●電源プラグを、コンセントから抜いておいてください。 ●掃除をして汚れを落としてください。 ●フィルターを掃除して、取り付けておいてください。	●ドレンタンクが入っていること（連続排水の場合は排水ホースが接続されていること）を確認してください。 ●フィルターが汚れていないか確認してください。

定期点検

半年～１年に一度、定期点検に次の点検をおこなってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。

コンセント

電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。
（電源プラグとコンセントの間に“ゆるみ”がないことを確認してください。）
電源プラグ、コンセントにほこりや汚れが付着していませんか。
汚れていれば、電源プラグを抜いて掃除してください。



点検整備



市販の洗浄剤などを使用しない。
樹脂部品の割れや排水経路の詰まりに至ることがあり、水たれや感電の原因にもなります。

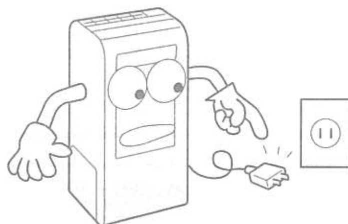
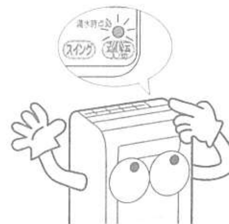




ご使用状態や周囲の環境によっても変わりますが、プチクールを数シーズン（２～３年）ご使用になりますと、内部が汚れて能力が低下することがありますので、通常のお手入れとは別に、点検整備をお勧めします。（プチクールを長持ちさせ、安心してご使用いただけます。）
●点検整備には専門技術を必要とします。

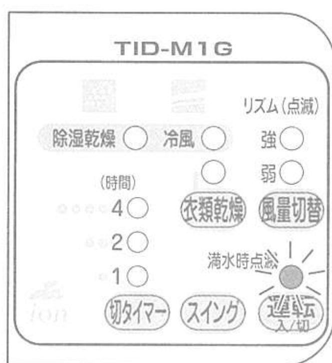
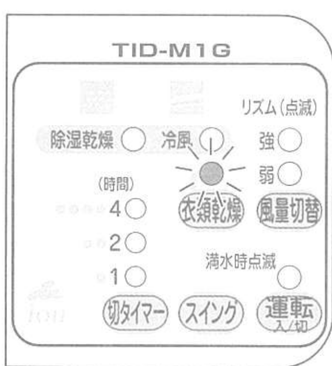
点検整備は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな?と思ったら 次のことをお調べください。

まったく運転しない	停電ではありませんか。ヒューズは切れていませんか。	電源プラグがコンセントからはずれていませんか。運転スイッチはON(入)になっていますか。	運転ランプが点滅していませんか。水を捨ててください。(19ページをご覧ください)	
冷えが悪い・除湿しない	フィルターや、熱交換機(凝縮器)が汚れていませんか。(22ページをご覧ください)	お部屋の中に思わぬ熱源がありませんか	吸込口や空気取入口・吹出口や排気口がふさがっていませんか。	お部屋の温度や湿度が低くありませんか。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときや下表のような現象が出たときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐお買い上げの販売店にご連絡ください。アフターサービスについては28ページをご覧ください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

運転ランプが点滅する		●ドレンタンクが一杯になっています。水をすててください。 ●ドレンタンクが正常にはめ込まれていません。ドレンタンクをはめ直してください。 ●ドレンタンクに組付けてあるフロートがはずれています。正常にはめ直してください。
衣類乾燥ランプが点滅する		●内部の温度センサーが低温を検知して機械保護のため運転を停止しました。 室温が 5 ～35℃の範囲内で使用してください。

冷風ランプが点滅する	●「冷風」運転時の熱交換器の霜取り運転中で、故障ではありません。
除湿乾燥ランプが点滅する	●「除湿乾燥」運転時の熱交換器の霜取り運転中で、故障ではありません。
全てのランプが約3.5秒周期で2回点滅する	●お買上げの販売店または別紙の お客様相談窓口一覧 まで症状をお知らせください。
全てのランプが約3.5秒周期で1回点滅する	●お買上げの販売店または別紙の お客様相談窓口一覧 まで症状をお知らせください。

こんなときは、すぐ販売店へ

●ブレーカーやヒューズがたびたび切れる。
●スイッチの動作が不確実。
●誤ってプチクール内部に異物や水を入れてしまった。
●コードの過熱や、コードの被覆に破れがある。

これは故障ではありません

停止直後に再運転できない	運転を停止後３分間は、再運転をストップして機械を守り、ヒューズ、ブレーカー切れを防ぎます。（マイコンに組込んである3分間保護回路が自動的に働きます。） 3分間待ってね
音がする	運転中や停止直後に"シュー"という音がすることがあります。これはユニットの中の液が流れる音です。
	運転の開始または停止時に"ピシピシ"と音がする場合がありますが、プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。
運転音が大きい	製品を置く設置面が弱かったり、傾斜したりしていませんか。
	ドレンタンク、フィルター等が正しく取り付けてありますか。
においがする。	運転中に吹き出す風がにおうことがありますが、これは、ユニットに付いたタバコや化粧品などのにおいです。
電源プラグが熱い	使用中は少し熱を帯びます。異常ではありません。

お願い

それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店にご連絡のうえ修理をお申しつけください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。

●お申し出により 出張修理 いたします。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●保証期間はお買い上げの日から１年間です。（ただし、冷凍サイクル部分は３年間です。）

なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことは、お買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

小型冷風除湿機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後９年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて



修理は、お買い上げの販売店または、別紙の お客様相談窓口一覧 にご相談ください。
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。


分解禁止

使用中に異常が生じたときは、直ちに運転を停止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型　式…TID−M1G
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・電話番号

アフターサービスでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、お買い上げの販売店か別紙の お客様相談窓口一覧 にお問い合わせください。

転居されるときは
ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

仕様

項目＼型式		TID−M1G	コード長さ		m	2.6
マイナスイオン発生方法		電子放射式	外形寸法	高さ	mm	537
電源		単相100V 50/60Hz		幅		286
冷風能力	KW	0.31/0.38		奥行		217
消費電力	W	エコ冷風 210/240	質量		kg	約10
除湿量		6.3/7.4(L/日)	附属品			除菌フィルター(1個)
ドレンタンク容量	L	1.5				

ご注意
(1) ／で示されている値は左側が50Hz、右側が60Hzの値です。
(2) 冷風特性は、室内空気条件30℃、相対湿度70%強運転の時の値です。
(3) 除湿特性は、室内空気条件27℃、相対湿度60%の時の値です。

TID−M1G　取扱説明書

愛情点検	★長年ご使用の除湿乾燥冷風機の点検をぜひ!		
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●コゲくさいにおいがする。電源コード、プラグが異常に熱い。 ●運転音が異常に高くなる。 ●水漏れがする。 ●漏電ブレーカーがひんぱんに落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶ 運転スイッチを停止にし、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客様へ…おぼえのために記入されると便利です。

型　式	TID-M1G	お買上げ年月日	年　月　日
お買上げ店名	（電話番号）（　　）　−		

株式会社 トヨトミ

本　社　名古屋市瑞穂区桃園町５番１７号
〒467-0855　TEL〈052〉822-1144
FAX〈052〉822-2742



W-Ⓑ